

CCUS早期社会実装のための環境調和の確保及び脱炭素・循環型社会モデル構築事業 (一部経済産業省連携事業)



【令和5年度予算額 7,500百万円（8,000百万円）】

CCUS（CO₂の分離回収・有効利用・貯留）の技術を確立するとともに、実用展開に向けた実証拠点・サプライチェーンの構築を行います。

1. 事業目的

2030年のCCUSの本格的な社会実装と環境調和の確保のため、商用化規模におけるCO₂分離回収・有効利用技術等の確立とともに、脱炭素・循環型社会のモデル構築を通じ、実用展開に向けた実証拠点・サプライチェーンを実現する。

2. 事業内容

（1）二酸化炭素貯留適地調査事業（経済産業省連携事業）

海底下地質の詳細調査結果を受けて、CO₂の海底下貯留に適した地点の精査を行う。

（2）環境配慮型CCUS一貫実証拠点・サプライチェーン構築事業

（一部経済産業省連携事業）

CO₂分離回収・有効利用設備の実証等の運用・評価実績をもとに、CCUSの実用展開のための一貫実証拠点・サプライチェーンを構築する。また、CO₂の資源化を通じた脱炭素・循環型社会のモデル構築、国際協調を踏まえたCO₂輸送・貯留等の実現性検討や案件形成を通じた関連技術・ノウハウの涵養等を行う。

（3）海洋環境保全上適正な海底下CCS実施確保のための総合検討事業

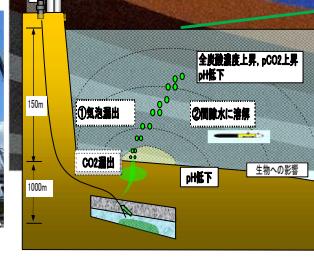
苫小牧沿岸域にて実証を行っている海底下CCS事業、CO₂圧入終了後に係る、利用可能な最新・最善の技術（B.A.T）・知見を活用した適正なモニタリングや規制の在り方について、ステークホルダーへの影響を十分考慮し検討を行う。

3. 事業スキーム

- 事業形態 委託
- 委託先 民間事業者・団体、大学、公的研究機関 等
- 実施期間 （1）平成26年度～令和5年度、（2）平成26年度～令和7年度
（3）令和3年度～令和7年度



◆ CO₂分離回収



◆ CCSモニタリング



◆ 輸送・貯留



◆ CO₂の有効利用
(化成品の合成、培養等)

CCUSの一貫実証イメージ

